

TOKYO  
FUKUOKA  
SAPPORO

# 地方都市再生を考えるリレーシンポジウム

## 2018.1.22 Mon 14:00-17:30

UR都市機構では、大都市から地方都市まで、民間事業者や地方公共団体のみなさまと協力し、都市再生の推進に取り組んでいます。本リレーシンポジウムでは、特に地方都市にフォーカスし、URの取り組みのご紹介やパネルディスカッションを通して、今後の地方都市のまちづくりについて考えます。

- 主催者あいさつ **UR都市機構 理事 杉藤 崇**
- 情報提供 **地方都市再生に向けた国の最近の取組**  
国土交通省 都市局まちづくり推進課 企画専門官 高峯 聡一郎氏
- URの取り組み紹介 **URの地方都市再生の取り組みについて**  
UR都市機構 都市再生部全国まちづくり支援室
- パネルディスカッション **新しい時代の再開発はありえるか?!**  
次の時代に地方都市が必要としている都市戦略を様々な視点からディスカッションを行い、実践に移すための方法論を追求したい。

パネリスト：馬場 正尊氏 × 嶋田 洋平氏 × 中島 直人氏

ネットワーキング

※プログラムは変更される場合がございますので、予めご了承ください。

## アクロス福岡 円形ホール

参加無料

開場 13:30

福岡県福岡市中央区天神 1丁目1番1号

地下鉄空港線「天神駅」(16番出口) 徒歩5分 [直結]

※参加にはお申し込みが必要です。詳しくは裏面をご覧ください。  
※本シンポジウムでは、駐車場を用意しておりませんので、ご来場の際には公共機関をご利用ください。  
※本会場では、全面禁煙を実施しておりますので、ご協力ください。



### リレーシンポジウムスケジュール

これからの地方都市再生を考えるきっかけとなるリレーシンポジウムを、東京・福岡・札幌と順次開催します。

TOKYO  
H29.11.15  
(開催済み)

FUKUOKA

SAPPORO  
H30.5  
(開催予定)

東京会場の当日の様子は、URリレーシンポジウムウェブサイトにて公開中!

主催：独立行政法人都市再生機構  
後援：国土交通省



お問い合わせ先 | 独立行政法人都市再生機構 都市再生部 全国まちづくり支援室

〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町6-50-1 横浜アイランドタワー TEL：045-650-0842

都市計画  
CPD

# 新しい時代の再開発はありえるか？！

人口減少の中、地方都市は新たな再生の手法を探している。かつてのように建物を建てれば、そこに人が集まり活気生まれる時代は終わった。

そのまちの状況の最適解を探そうとすれば、それは新築による再開発の場合も、リノベーションの場合も考えられる。ただし、かつてのように短期的な資金計画を成立させるためだけに、高容積率で建物を大きくするのではなく、まちのスケールに合った適切な規模を追求する再生手法もありえるだろう。リノベーションと再開発は対立概念ではない。

臨機応変でかつ小さな投資によって、小さな変化を積み重ね、面に展開してゆく手法もあるだろう。

この時代の地方都市の再生は、どのようなものであろうか？

## パネリストの紹介



馬場 正尊氏

建築家 / 株式会社オープン・エー 代表取締役  
公共 R 不動産ディレクター

1968年佐賀県生まれ。1994年早稲田大学大学院建築学科修了。博報堂で博覧会やショールームの企画などに従事。その後、早稲田大学博士課程に復学。雑誌『A』の編集長を経て、2002年OpenA Ltd.を設立。建築設計、都市計画、執筆などを行う。同時期に「東京 R 不動産」を始める。2008年より東北芸術工科大学准教授、2016年より同大学教授。建築の近作として「Re ビル事業」(2014-)「佐賀県柳町歴史地区再生」(2015)、「Shibamata FU-TEN」(2017年)など。近著に『PUBLIC DESIGN 新しい公共空間のつくりかた』(学芸出版、2015)、『エリアリノベーション変化の構造とローカライズ』(学芸出版、2016)がある。ウェブメディアとして、2011年より『団地 R 不動産』、2015年より『公共 R 不動産』を立ち上げ、運営。



嶋田 洋平氏

らいおん建築事務所 代表取締役

1976年福岡県生まれ。東京理科大学理工学研究科建築学専攻修士課程修了後、建築設計事務所「みかんぐみ」チーフを経て、2008年らいおん建築事務所を設立。2012年北九州家守舎、その翌年には都電家守舎を設立し、全国のたくさんの都市地域で、縮退エリアにおけるリノベーションまちづくりによる再生事業を行っている。小倉魚町での実践によって「国土交通大臣賞」「都市住宅学会業績賞」「土地活用モデル大賞審査委員長賞」「日本建築学会教育賞」を受賞。著書に「ほしい暮らしは自分でつくる ぼくらのリノベーションまちづくり」(日経 BP 社)、共著に「2025年の建築 七つの予言」(日経 BP 社)、「最高に気持ちいい住まいのリノベーション図鑑」(エクスナレッジ)等。日経アーキテクチュア「アーキテクト・オブ・ザ・イヤー 2017」第2位に選定。



中島 直人氏

東京大学准教授

1976年東京都生まれ。東京大学工学部都市工学科卒、同大学院修士課程修了。博士(工学)。東京大学大学院助手、助教、慶應義塾大学専任講師、准教授を経て、2015年より現職。専門は都市計画。都市や都市計画の実証的な歴史研究と都市デザインの実践との接続を志向してきた。近年ではニューヨーク市の公共空間再編に関する研究や高島平(東京都板橋区)での公共空間再生の検討を行っている。主な著作に『都市美運動 シヴィックアートの都市計画史』(東京大学出版会)、『都市計画家石川栄耀 都市探求の軌跡』(共著、鹿島出版会)、『建築家大高正人の仕事』(共著、エクスナレッジ)等。

## シンポジウム事前参加申込み<平成 30 年 1 月 16 日 (火) 締切>

参加を希望される方は、下記ウェブサイトまたは FAX に必要事項をご記入の上お申し込みください。



リレーシンポジウム事務局

ウェブサイト : <http://www.ur-net.go.jp/machi-sympo/>  
FAX : 03-3272-6057 (業務受託先 : 株 UR リンケージ販売計画部内)

※定員 100 名になり次第締め切りとなります。ご了承ください。

※本シンポジウムへの申込みに伴う氏名等の個人情報は、当日の受付および、次回以降の札幌会場のご案内に限定して使用するものとし、適切に管理いたします。

UR 地方都市 リレー

検索

### 地方都市再生を考えるリレーシンポジウム参加申込書【必要事項】 ※お名刺のコピーを貼り付け頂いても結構です。

代表者名(ふりがな)

参加人数(代表者含む)

人

貴社名(部署名)

部署名 :

貴社ご住所

〒

ご連絡先

TEL :

FAX :

電子メール :